

## RIBF ミニワークショップの申請

テーマ：三核子力—少数核子系散乱と核構造との接点—

説明：

三核子力は、原子核の束縛エネルギー、核物質の状態方程式、少数核子系散乱等々、原子核の様々な面において、近年、その重要性が指摘されている核力の一つである。ミニワークショップでは、「少数核子系散乱と核構造との接点」をキーワードに、現在最も注目されている三核子力の荷電スピンスピン依存性など、今後、理論、実験共にどのような方法で三核子力にアプローチすべきか、理論・実験の研究者間の情報を交換、共有し、議論を行う。

本ワークショップは、三核子力研究に精通している研究者間で詳細な議論を行う事を想定している。以下5名が集い、1日程度(或は、午後のみ)の議論を行う。開催日・場所は、11月29日前後、RIBF 実験棟2階の小会議室を予定している。

参加者：

Sydney Coon (Tucson 大学, アメリカ, JUSTIPEN にて理研に滞在)

Henryk Witala (Jagellonian 大学, ポーランド, 九州大学に客員教授として現在滞在中)

鈴木宣之(新潟大学)

関口仁子(東北大学)

酒井英行(理研仁科センター)

理研内の世話人：

酒井英行(電話番号：内線 4101, Email：hsakai@ribf.riken.jp)

希望予算：11万7千円

内訳

交通費 (Witala)：7万 円

交通費 (鈴木)：2万 円

交通費 (関口)：2万 円

茶菓代：2千 円